

## NANIWA 58号

### **B班の行動** 関西圏の紛争を拡大させているのは小森氏だった！

2週間総行動後半が4月2日から始まりました。初日は本部から吉田委員長も加わっていただき、旺盛にたたかひの火蓋が切られました。地域の仲間もたくさん来て頂きました。まずは、朝ビラから支店要請、近畿財務局要請を行ないました。

大阪北支店での要請では、会議室に全員が通され、一人一言、発言しました。私たちの切実な要請を真摯に受け入れてくれたと思いました。それも、これも、2府4県担当している小森氏が、あいにくもっと重要な所用でいなかったため、スムーズに要請ができたのです。近畿財務局では、失礼にもエントランスでの対応となりました。「個別の労使問題は…」など真摯に要請を受ける姿勢を示しませんでした。要請書を渡し、「しっかり認識しよう」強く申し入れました。

3日は寒い金沢で終日、駅頭・繁華街で宣伝行動。支店要請もすんなり応接室に通してくれ、整齊と要請は終了しました。財務局についても全員で個々の思いを述べました。

4日は凍てつく風の新潟で終日、駅頭・支店前で行動しました。新潟支店は要請に行くやいなや、7人で人間ブロックをしき、責任者の赤星GLが「**ここで対応する**」「**答える立場でない**」「**本店でパンパンしてください**」「**名刺はない**」など、眼を疑いたくなるような対応をしてきました。全員がこの失礼な態度に怒りが爆発し、4度にわたり要請を中断し、道を挟んでならみ合うかたちとなりました。最終的に「ここで要請書を読み上げるのでメモをとって支店長、本店に伝えよ」と要請書は渡しませんでした。そして最後に「新潟支店は要請できる対応をしないので、読み上げて書かせるという結果になった。真摯に対応する支店では要請は30分もあれば終わる。今後新潟支店は最重点強化支店と言う位置付けをし、地域の仲間と何度でもくるつもりだ。今日で終わりでないということを伝える」と言って要請を終了しました。地域の皆様本当にありがとうございました。

そして、本社前で仲間と合流しました。最後の要請に会社が一人だけで対応させた行為にこの会社の残酷さを見ました。みんなが声をからしてひとつになり、赤星GLの「本社でパンパンして」という言葉を思い出し、しっかりと外勤魂をぶつけました。集会を終え、「**団結**」はより強まったと実感します。みんなの顔は日焼けし、声はガラガラ。しかしこれはしっかりたたかひ切った証です。

ひとりはおみんなのために みんなはひとりのために

全損保日勤外勤支部大阪分会